

松伸グループ DXへの取り組み

インフラ設備・IT活用

松伸グループは「創造と貢献」という精神のもと、守るべき伝統を守りながらも、常に新しくユニークな挑戦を前向きに継続し、社会の皆様に貢献し、愛される企業であることを目指します。

また少子高齢化に伴い人の不足が見込まれる時代、デジタル技術を使った生産性の向上による競争力の強化が鉄筋業界にも必須と考えられます。

上記ビジョンを達成するため、時代の流れにあった柔軟な判断、決断、実行を続けるためにも、加工から施工まですべての工程において業務効率化・生産性の向上に大きな変革をもたらすDX（デジタルトランスフォーメーション）を推進いたします。

2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
------	------	------	------	------	------	------	------

オンライン会議
システム導入
遠隔地での会議開始

Icube導入
出来高等のデジタル管理化

Office365導入

OneDrive試験運用

現場用iPad導入

社内カメラ設置
遠隔で生産状況確認

正しい情報の共有

加工予定・施工管理の共有
社内WEB会議に互いの状況を
より明確に伝えあう

従来は人と機械で
加工から施工までを
管理・実行していた。

機械にAI・IT技術が搭載されていく中で
人もデジタル技術を活用できるように。
互いの情報理解のズレを失くし
怪我もロスも時間も軽減することで
生産性の向上・顧客ニーズへの対応を目指す。
～成長性と収益性の実現へ～

※松伸グループとは株式会社松伸と有限会社マツシンをまとめた呼称です

DX推進体制

